

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅢ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

1. 編修の基本方針

基本方針

1

本文を素材として、4技能をバランスよく育むことができる教科書

- Unit 1 (Lesson 1~5) では、本文と4技能を扱うタスクなどから成る見開き構成です。タスクを左ページに、本文を右ページに置くことで、「本文の読み取り中心」ではなく「タスク中心」の授業を行いやすく、本文を素材として4技能を鍛えられる構成となっています。
- Unit 1 (Lesson 1~5) にある各 Part 冒頭の Guess は、イラストや写真を使った推測問題です。語彙や本文内容の推測をすることで、目的をもって本文読解に取り組むことができます。
- Unit 1, Unit 2 とともに、各 Lesson のまとめとして、Action (聞く、書く、話すの統合活動) を課末に設けました。本文で学んだことをもとにしながら、表現のアウトプットに重点を置いた言語活動を行うことで、コミュニケーション力を養うことができます。

基本方針

2

手厚い支援と明確なステップで、生徒が自ら学べる教科書

- 各 Lesson のタスクや課末問題 Action は、段階を踏んで無理なく行えます。
- 生徒の学ぶ意欲を高めるため、扉に大きく写真を配置し、写真を使ったリスニング活動やペア活動が行えるようにしています。
- 各 Part の写真は、見るだけで本文内容が想起でき、効果的な授業の導入や、生徒の内容理解を補助できるものを取り上げています。

基本方針

3

学んだことを「使いながら」定着させる教科書

- 課末問題 Action では、本文で学んだテーマについて、別の視点や異なる意見を聞く活動や、自分の意見を書いたり発表したりする活動を通して、学びを深めることができます。
- Practical Reading 1~5 では、Unit 1 (Lesson 1~5) で扱ったテーマに関して、より実践的な英文を取り上げ、必要な情報を読み取ったり、情報を整理したりします。

2. 対照表

図書の内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson 1～10 Optional Reading 1 Optional Reading 2 Practical Reading 1～5	①各 Lesson で取り上げた題材を通して、異文化の発想や考え方を知り、広い視野を育成します。 (第 1 号)	各 Lesson
	②Optional Reading では生徒の心情に訴えるような題材を取り上げ、互いを思いやる心と道徳心を培うように配慮しています。(第 1 号)	Optional Reading 1 Optional Reading 2
	③Lesson1～5 の Plus One と関連表現をまとめた Tool Box Plus で、豊かな自己表現を促します。 (第 1 号)	巻末
	④Practical Reading では、実際の言語の使用場面を踏まえたコミュニケーション活動を行い、実生活に生かすことができます。(第 2 号)	Practical Reading 1～5
	⑤実在する人物が、夢を実現するまでのストーリーを取り上げ、主体的な生き方について考える機会を設けています。(第 2 号)	Lesson 2, Lesson 4 など
	⑥ペアやグループで取り組むコミュニケーション活動を豊富に用意し、協力し合う心を育みます。 (第 2 号)	Lesson 1～5 の Plus One, 各 Lesson の Action など
	⑦男性、女性をバランスよく取り上げ、男女が共に社会に参画している姿を示しています。 (第 3 号)	Lesson 2, Lesson 8 など
	⑧自然を大切にしたり、環境保全を心がけたりするような題材を取り上げています。 (第 4 号)	Lesson 4, Lesson 7 など
	⑨外国の生活や文化を紹介し、他国への理解と尊重の心を育みます。 (第 5 号)	Lesson 1, Lesson 6 など
	⑩我が国の伝統や文化について知り、それらを外国に向けて発信する力を養います。 (第 5 号)	Lesson 1, Lesson 5 など
コラム類	①英語の基本的な文構造や発音などの学習を通して、日本語とは異なる特色に気づき、理解しようとする態度を養います。 (第 1 号)	Sounds Interesting! など

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色		
観点	留意点	具体例
① 教育基本法の遵守	① 国際社会の舞台において積極的に挑戦し、活躍できる日本人を育成するために、英語力を確実に身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことを目指しています。	Lesson 1～ Lesson 10
	② 世界に日本のよさを発信できる生徒を育成するために、日本の伝統・文化に関する題材を豊富に取り上げています。	Lesson 1, Lesson 4 など
② 学習指導要領の遵守	① Lesson を重ねるごとに、「聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力」を伸ばせるように、題材や練習問題が選択・配列されています。	Lesson 1～ Lesson 10
	② 生徒が自分のことばで英語をアウトプットする活動を取り上げ、コミュニケーションの機会を豊富に用意しました。	Lesson 1～5 の Plus One, 各 Lesson の Action など
	③ 話しことばや書きことばの違いが認識できるよう、さまざまなテキストタイプを取り上げ、使われる場面と英語の「ジャンル」が意識できるよう配慮しました。	Lesson 1～ Lesson 10, Practical Reading 1～5
③ 内容・配列・分量	① 学習負担を考慮し、Unit 1 (Lesson1～5) では言語材料は1つのPartにつき1項目に限定しています。また、既習事項を新たな学習内容に関連させながらゆるやかに難易度を上げているため、無理なく英語を習得できます。	Lesson 1～ Lesson 10
	② Unit 1 (Lesson1～5) は、「語彙の意味または内容の推測による導入→内容理解→演習→整理→発展」の順に構成されており、効率的に学習できるように配慮されています。	Lesson 1～ Lesson 5
	③ 本文は、一般的な授業の流れに沿ってPart分けされています。Partごとに、本文の内容把握と文法学習を行うため、無理なく、効率的に学習できます。	Lesson 1～ Lesson 10
④ 評価 (CAN-DO)	各 Lesson の扉ページの Goals of the Lesson (4 技能 5 領域の学習目標) を受けて、課末問題 Action では言語活動を通して、その Lesson における目標の達成度を確認することができます。	Lesson 1～ Lesson 10
⑤ 英語で授業を行うための配慮	Lesson のタスクなどはなるべく日本語を介さずに内容が理解できるように工夫しています。また、生徒が英語でアウトプットする活動を充実させています。	Lesson 1～ Lesson 10 Practical Reading 1～5
⑥ 英語コミュニケーションⅡとの関連	① 英語コミュニケーションⅡからのスムーズな接続のために、Lesson 1～5 の構成は変えず「左頁タスク、右頁本文」とし、より高度な学習を行う Lesson 6 から新たな構成とした。	Lesson 1～5
	② 学習段階に応じて、平易なものから難しいものへと段階的に学習・指導できるように配慮しました。Unit 1 (Lesson1～5) は、英語コミュニケーションⅠとⅡの文法事項の復習も兼ね、英語コミュニケーションⅢへの橋渡しという点に特に留意しています。	Lesson 1～5

⑦ 伝統・文化の取り上げ方	①日本の伝統・文化に関する話題を取り上げ、我が国の伝統・文化への意識を高め、日本を世界に紹介する意欲を促すようにしています。	Lesson 1, Lesson 4, Lesson 5 など
	②言語を文化ととらえ、英語の基本的な文構造の学習を通して、日本語と英語の違いに気づきを与える活動を積極的に取り扱っています。	Practical Reading 1~5 など
⑧ 自然科学の取り上げ方	英語科にふさわしい意味のある切り口で取り上げられるよう、特殊な語彙や表現による負担に配慮して、題材選定をしています。	Lesson 5, Lesson 7 など
⑨ 家庭学習・自学自習への配慮	①リーディングスキルが扱われています。	Lesson 6~10
	②自宅でも本文や単語の音声を聞けるように、二次元コードを設置しています。	各 Lesson の扉, Sounds Interesting! など
⑩ 文字・印刷・製本	①活字は鮮明で美しく、写真、イラストなども鮮明です。	全体
	②製本は堅牢で、開きやすい様式です。	
	③図やグラフの色使いなど、色覚特性への配慮を含むユニバーサルデザインになっています。	

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅢ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

**国際社会で活躍するために必要とされる、
英語力の基礎を身につけられる教科書です。**

基本方針

1

本文を素材として、4技能をバランスよく育むことができます。

- Unit 1 (Lesson 1~Lesson 5) は、本文と4技能を扱うタスクなどから成る見開き構成です。タスクを左ページに、本文を右ページに置くことで、「本文の読み取り中心」ではなく「タスク中心」の授業を行いやすく、本文を素材として4技能を鍛えられる構成となっています。
- Unit 2 (Lesson 6~Lesson 10) の本文は、ある程度の分量の英文をまとめて読むことができるよう、見開きで掲載されています。ページごとの本文の内容把握を行えるように、各ページの下部には英語の質問を用意しています。
- Unit1, Unit 2 ともに、各 Lesson のまとめとして、Action (聞く、書く、話す、の統合活動) を課末に設けました。本文で学んだことをもとにしながら、表現のアウトプットに重点を置いた言語活動を行うことで、コミュニケーション力を養うことができます。

【「読む」ことについて】

- Unit 1 (Lesson 1~5) にある各 Part 冒頭の Guess はイラストや写真を使った推測問題です。語彙や本文内容の推測をすることで、目的をもって本文読解に取り組むことができます。
- 各 Lesson と Optional Reading の本文では、エッセイ、論説文、スピーチ、映画のあらすじなどさまざまな形式の英文に触れられるように配慮し、場面を意識しながら読むことができるように配慮しました。

【「聞く」ことについて】

- Unit 1 (Lesson 1~5) の Listen では True or False 問題で本文の詳細を確認します。
- Unit1, Unit 2 ともに、課末活動の Action では Scene 1 で各 Lesson のテーマについて、本文とは別の視点や異なる意見を聞き取り、学びを深めます。
- 英語特有の音声の特徴については、コラム「Sounds Interesting!」で、例示付きで扱っています。英語の聞き取りだけでなく、発音する際にも役立つ内容です。

【「話す」および「書く」ことについて】

- Unit 1 (Lesson 1～5) の Plus One で、自分のことを複数文で話したり、書いたりします。
- 課末問題 Action では Scene 2 と Scene 3 で、本文で学習した表現を繰り返し使いながら、自分の意見を書いたり、発表したりします。
- ディベートの際のポイントを、コラム「Let's Debate!」で取り上げています。
- コラム「Summary Writing」で、英語の要約文やあらすじの書き方について、タスク付きで扱っています。

基本方針

2

手厚い支援と明確なステップで、生徒が自ら学べます。

- Unit1, Unit 2 とともに、タスクや課末活動 Action は段階を踏んで無理なく行えます。
- Unit 1 (Lesson 1～5) での言語材料は、1 パートにつき 1 項目に限定し、学習負担に配慮しています。また、既習事項を新たな学習内容に関連させながら緩やかに難易度を上げているため、無理なく英語力を高めていくことができます。
- 言語材料の配列については、英語コミュニケーションⅠの復習を行うとともに、平易なものから難しいものへと段階的および体系的に学習・指導できるように配慮しました。
- 冒頭の Tips for Reading では、本文の読解に役立つリーディングスキルについて、整理して扱っています。
- 教科書全体を大きく 2 つに分け、題材内容および学習事項の難易度が徐々に上がるようにしました。(下記参照)

【教科書の全体構成】

Unit 1(Lesson 1～Lesson 5)



Unit 2(Lesson 6～Lesson 10)

語数：250～450 程度

題材：日常的な話題

語数：450～650 程度

題材：社会的な話題

基本方針

3

学んだことを「使いながら」定着させ、深めることができます。

- 各 Part の Plus One や課末問題 Action では本文で学んだ語彙・表現を繰り返し「使いながら」定着させ、無理なくアウトプット活動ができます。
- 課末問題 Action では、本文で学んだテーマについて、別の視点や異なる意見を聞く活動や、自分の意見を書いたり発表したりする活動を通して、学びを深めることができます。
- Practical Reading 1～5 では、Unit 1 (Lesson 1～5) で扱ったテーマに関して、より実践的な英文を取り上げ、必要な情報を読み取ったり、情報を整理したりします。

基本方針

4

国際社会に通じる発信力を高められる題材を扱っています。

- ・前半部の Lesson では、身近な題材を通して、日本の伝統や文化に対する理解を深め、国際社会の中で生きる日本人としての思考力、判断力、表現力の育成を促すことができます。
- ・後半部の Lesson では、世界の文化や人物を広く取り上げ、さまざまな価値観を学ぶとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができます。

基本方針

5

実際の言語の使用場面を踏まえた活動を用意しています。

- ・課末問題 Action では、Scene 1 で聞いた内容に対して、Scene 2 や Scene 3 で自分の意見や感想を書いたり、発表したりする活動に取り組むことで、自分の考えを相手に伝える練習を積み重ねることができます。

題材・言語材料・Tips for Reading 一覧

Lesson	タイトル	言語材料 / Tips for Reading
Lesson 1	Library of the Future	現在分詞の分詞構文 関係副詞 where
Lesson 2	History Maker Otani Shohei	現在完了進行形 be 動詞 + to 不定詞
Lesson 3	Zoo Dentists: How They Work for Zoo Animals	比較表現 S+V[使役]+O+C[原形不定詞]
Lesson 4	Nature Photographer in Alaska	関係代名詞の非制限用法 関係代名詞 what 分詞構文
Lesson 5	A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think	S+V+O+C 過去完了進行形 受け身
Lesson 6	Where Does Halloween Come from?	ディスコースマーカー①「追加」
Lesson 7	Will 3D Printing Technology Change the World?	事実と意見
Lesson 8	A Conductor of the Underground Railroad	ディスコースマーカー②「時間順序」
Lesson 9	English, Always Growing	ディスコースマーカー③「列挙」
Lesson 10	Understanding the Culture of Dogs	ディスコースマーカー④「追加」

2. 対照表							
図書の内容・構成	学習指導要領の内容				3 内容の 取扱い	箇所	配 当 時 間
	2 内容			(3)言語活動及び言語の 働き			
	(1)英語の 特徴や決 まり	(2)情報を整理 しながら考え などを形成 し、英語で表 現したり伝え あったりする こと	①				
Lesson 1	ア・イ・ ウ・エ	ア・イ・ウ	ア・ イ(ア)・ ウ(ア)・ エ(ア)・ オ(ア)・ カ(ア)	ア (ア) (イ)・ イ (ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)	○	pp.6-15	4
Lesson 2						pp.18- 27	4
Lesson 3						pp.28- 37	4
Lesson 4						pp.38- 49	6
Lesson 5						pp.52- 63	6
Lesson 6						pp.66- 75	6
Lesson 7						pp.76- 85	6
Lesson 8						pp.86- 95	8
Lesson 9						pp.96- 105	8
Lesson 10						pp.106- 115	8
Optional Reading 1	ア・イ・ ウ・エ	ア・ウ			○	pp.118- 127	4
Optional Reading 2	ア・イ・ ウ・エ			ア(ウ)	○	pp.128- 136	4
Summary Writing						p.16 p.50	2
Let's Debate!						pp.116- 117	2
Sounds Interesting! 1~3	ア					p.17 p.51 p.64	3
Practical Reading 1~5	イ・ウ	ア				pp.138- 147	10
英字新聞を読む	ウ	ア・イ	ウ(ア) カ(ア)	ア(ウ) イ(ウ)	○	pp.148- 149	1
英語でどう言う?	ウ			ア(ウ) イ(ウ)	○	p.150	1
						合計 87 時間	